

## アカシア acacia(聖書:アカシヤ)とミモザ

アカシア(聖書表記:アカシヤ)とミモザのように、花の名前は、通称によって錯乱が生まれます。そのために、学名が付けられています。学名は一対一対応なので、間違えることはありません。

ミモザ =フサ(房)アカシア ⇒ミモザアカシア ⇒ミモザ	マメ科	オジギソウ属	学名:Acacia <b>decurrens</b>
フサ(房)アカシア	マメ科ネムノキ亜科※1	アカシア属	学名:Acacia <b>dealbata</b>
ギンヨウ(銀葉)アカシア	マメ科ネムノキ亜科	アカシア属	学名:Acacia <b>baileyana</b>

アカシアは、マメ科ネムノキ亜科アカシア属に分類される植物です。

1000 を超える種類があり、1~2m の低木から 20m 以上の高木まで様々な種類のアカシアがあります。オーストラリアやアフリカなどの熱帯や温帯の地域に分布し、ほとんどの種類が春から秋にかけて、球形の黄色い小花を咲かせます。アカシアは古代エジプトでは神聖な木として扱われていました。また、船の材料や食品、染料、薬として、私たちの生活を支えてきた歴史のある植物で、アカシアの樹脂は、お菓子やアイスクリームなどの食品の原料として使われています。



分類: 多年草、園芸分類: 庭木、形態: 低木・高木、原産地: オーストラリア・アフリカ、開花期: 3~5月、花色: 黄など、耐寒性: 強い、耐暑性: 強い

アカシアは、ヨーロッパに持ち込まれたときに「ミモザ(オジギソウ:右写真)に似たアカシア」ということで「ミモザアカシア」と呼ばれました。このことからアカシアを「ミモザ」と呼ぶようになりました。しかし、ミモザ(オジギソウ)はマメ科オジギソウ属、アカシアはマメ科アカシア属で異なる植物です。そのため、アカシアをミモザと呼ぶのは広まっているものの、厳密には間違っています。



特徴として、ミモザはその名のとおり、葉っぱに触れるとお辞儀をしますが、アカシアは葉っぱに触れてもお辞儀をしません。またアカシアの黄色に対し、ミモザはピンク色の花が咲きます。



ミモザの葉は、ふさふさと柔らかい感じですが、アカシアはもっと固くしっかりした葉です。

他に、アカシアと紛らわしい植物、ニセアカシアがあります。ニセアカシアは北米原産の植物で寒さに強いのが特徴です。アカシアと同じマメ科ですが、花の形も開花時期もまったく違います。ふわふわしてポンポンとした黄色い花を咲かせるアカシアに対し、ニセアカシアは蝶のような形の白い花を咲かせます。またアカシアは3~5月に咲きますが、ニセアカシアは5~6月に咲きます。



※1: 亜科

生物分類学上の単位の一。必要な場合に、科と属の間に設けられる。バラ科をバラ亜科・シモツケ亜科・ナシ亜科・サクラ亜科に分けるなど。